

盛岡市立病院 地域医療連携だより

No.36

平成30年3月発行

院長より挨拶

盛岡市病院事業管理者
兼盛岡市立病院長

かとう あきのぶ
加藤 章信



盛岡市立病院では、お陰様でこの4月から脳神経外科を開設する運びとなりました。神経内科の対象となる病気に加え、事故などによる頭部外傷を含めた脳神経領域の疾患について、神経内科と連携しながら診療機能の充実を図って参ります。また、今後は泌尿器科に1名常勤医師をお迎えする予定となっており、少しずつではありますが、診療機能を整えながら職員一丸となってさらなる病院経営の改善に取り組み、今後とも皆様方にお役に立てるよう努力して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

さて、今回お届けする地域医療連携だよりでは、(1)脳神経外科新設のお知らせ(2)看護部外来、臨床検査担当の紹介(3)栄養サポートチームからのお知らせを掲載させていただきました。

いずれの内容も地域でご活躍の先生方、日頃からご支援いただいている介護事業所等の皆様に当院がどのように密接な連携を築いていけるかという趣旨で進めている取組みでございます。

結びとなりますが、先生方をはじめ皆様方のご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに平成30年度も変わらぬご支援のほどをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

盛岡市立病院の基本理念

「優しさといたわりのある病院」

「信頼され優れた医療の病院」

「開かれた地域医療のための病院」

3つの基本理念を掲げ、医療水準を高め、患者中心の医療を展開し、地域の中核病院として、より機能するとともに健全な経営が行われる病院づくりを目指します。

目次

- 脳神経外科新設のお知らせ … 2
- 院内の部門紹介 看護部外来 … 3
臨床検査担当 … 4～5
- 栄養サポートチームからのお知らせ … 6

盛岡市立病院 地域医療連携室

〒020-0866 盛岡市本宮五丁目15番1号

代表電話 019-635-0101 FAX 019-631-2102

URL <http://www.morioka-city-hosp.jp/>



脳神経外科新設のお知らせ

■平成30年4月より、**脳神経外科**が新設となります。

診療科の新設に伴い新任医師が赴任いたしますので、ご紹介します。



氏名

原 一志（はら かずし）

出身大学・卒業年

弘前大学（東北大学脳神経外科）・平成6年

所属学会・資格等

日本脳神経外科学会（脳神経外科専門医）、日本神経内視鏡学会（技術認定医）、日本脳神経血管内治療学会、日本脳卒中学会、日本救急医学会、日本脳神経外科コンGRESS、日本磁気共鳴医学会

診療開始にあたって

平成30年4月より盛岡市立病院で脳神経外科を新規開設させていただくことになりました。

1人体制でのスタートとなりますので、まずは外来での診察、治療を中心として始めさせていただくこととなります。

手術や集中治療を要する症例は岩手医科大学や近隣の脳神経外科にご紹介して治療をお願いすることになりますが、頭部外傷や脳内出血で手術を必要としない症例は当院での入院治療もお引き受けします。

また、開業の先生方の後方ベッドとしての役割も果たしていくつもりでありますので、お気軽にどうぞご相談ください。

何分にもゼロからのスタートですので、ご不便やご面倒をおかけすることがあるかもしれませんが、故郷の医療に貢献できるよう励んで参りますので、宜しく願いいたします。



院内の部門紹介

～今回は看護部外来と臨床検査担当を紹介します～

看護部 外来

外来看護師は、患者さんの目的に応じてスムーズに診察・検査・処置などを行い、満足してお帰りいただけるよう心がけて看護を提供しております。

近年、医療の高度化により、日帰りでの内視鏡検査や在宅での自己注射、点滴・化学療法などが行なわれるようになりました。患者さんやご家族の方が安心して検査を受けたり、自宅で療養生活が送れるよう、専門知識や技術を持った糖尿病療養指導士やがん化学療法看護認定看護師が相談に応じ、アドバイスを行っております。

また、地域の病院として盛岡市成人検診をはじめとする各種検診にも対応しております。



※他院にご入院中の患者さんが当院の外来受診にいらっしゃる場合は、算定等に必要となりますので、患者さんに関する情報提供書をお持ちいただきますようお願いいたします。

また、ご紹介時には、別紙「紹介患者(検査依頼)FAX 申込書」をご利用ください。申込書が届き次第、外来患者さんご紹介用の「ご紹介確認書」、「来院のご案内(紹介患者様用)」をFAXにてご案内させていただきます。

各種健康診断のご案内

近年、生活様式の欧米化とともに、様々な生活習慣病が激増しております。高齢化社会の進展とともに、健康長寿が重要視される中、検診の主たる目的は疾病の早期発見、早期治療にあります。当院では健康維持のお役に立てるよう、総合検診を目指し、各診療科の全スタッフが検診業務に携わってまいります。

1 泊人間ドック 火曜日～水曜日, 木曜日～金曜日

人間ドックは病気の予防や早期発見、慢性疾患などをじっくりと調べる健康診断です。通常健康診断に比べて検査項目が多く、より総合的な診断を受けることができます。

日帰り人間ドック 水曜日, 金曜日

半日程度で総合的な検診を行い、生活習慣病などの早期発見につなげます。「忙しくて時間があまり取れない」という方に適しています。短時間ですが充実した検査内容となっています。

一般健診 月曜日～金曜日

労働安全衛生規則による健診 月曜日～金曜日

個人健診 月曜日～金曜日



健診の詳細内容や料金等については、当院のホームページをご覧ください。お気軽にお問い合わせください。

臨床検査では、常勤の臨床検査技師4名で診療連携や看護支援に応じながら、患者さんの早期診断に寄与し安心した入院検査や外来フォローに貢献することができるよう、また無駄な検査の繰り返しなく連携して患者さんの負担を軽減したいと考えています。患者さんを診察する医師が正しく判断をするために患者さんから検体を採取し、また直接検査する方法により、体の状態をデータ化、視覚化させる業務内容であり、さらに患者さんをお待たせしないよう、少ない人員で迅速性を引き出すために日々改善を行っています。

【主な検査内容】

- 検体検査 生化学／血液／一般検査等に検査項目を最低限にしてBML社によるFMS共同運営をしております。
- 輸血製剤管理 アルブミン製剤以外を発注／在庫／クロスマッチ／不規則抗体検査を一元化しております。
- 採血 診療科外来の混雑を緩和した対応ができるように、健診・ドックの方の採血を担っております。
- 生理検査 心電図／肺機能／血圧脈波／エルゴメーター運動負荷心電図／ホルター心電図／脳波／簡易睡眠時無呼吸検査／動作分析など
- 超音波検査 腹部／心臓／泌尿器／血管／頭蓋内／体表

■電子カルテと連動した検査システム

当院の採血検査は電子カルテからの入力情報から一連にシステム化しており、患者氏名の印刷されたバーコード運用することにより、整合性や迅速性に優れた結果報告に努めています。共同運営の特徴として緊急性のある場合とそれ以外のオーダーに区別をつけることで、緊急検体を重点に院内検査にしています。検査値は岩手医大や県立病院も採用している共用基準範囲値を取り入れることにより、同一基準による評価になるよう地域連携にも配慮しております。

■健診・ドック採血

現在は、一般診療外来と区別して健診・ドック対象者の採血を2階検査室内で行っております。その際の順路案内は当日に随時説明し不安のないよう努めております。

■輸血製剤管理

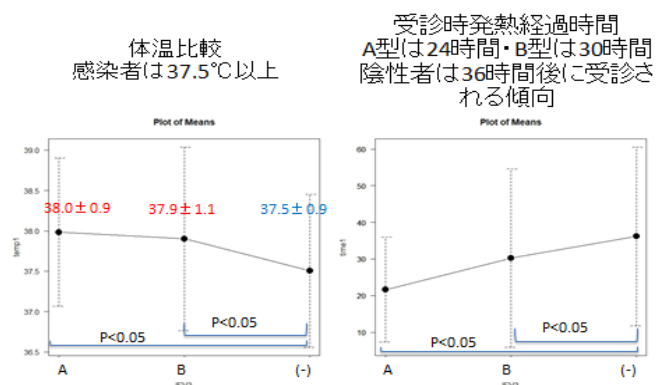
稀な抗体を持つ患者さんへの対応には欠かせない輸血検査を実施する上で、発注・在庫・払い出しを一元化した体制で、常に適合された赤血球製剤を提供するよう努めております。

■チーム医療

臨床検査技師はICTやNSTに参加しチーム内で検査値情報提供や回診、カンファレンスに同行し状態把握に努めるなど、より良い医療を提供します。

▲臨床検査トピックス▲ インフルエンザウイルス迅速検査状況をご紹介します。

当検査では、救急外来と検査室にBDペリター™システムFLU検査キットを採用しております。今シーズンH29.12よりH30.2までの検査状況は、昨シーズンと比較すると、陽性者は22.4%で同率ながらB型については検査数に対して昨シーズン0.4%から今シーズン13.5%と増加傾向でした。特にA型とB型と陰性者では体温や発熱後の受診時間に特徴が見られました。それぞれの医療施設での傾向はいかがでしょうか。



生理検査室 超音波検査

検体検査と同時に生理検査や超音波検査を併行して実施し、診療支援を提供しています。

■生理検査

2階生理検査室では心電図や肺機能など随時受付できる検査から予約の必要な検査まで実施しています。一般病棟、地域包括ケア病棟、一般診療外来、健診・ドック全てを受付しており、多数の検査がありますので、予約分含め検査毎にお呼びすることから順番が前後することがあります。密に説明し、連携しながら Patient First を心がけ、なるべくお待たせしないよう努めています。

随時受付	予約受付
心電図	エルゴメーター運動負荷試験
マスター負荷心電図	ホルター心電図
肺機能検査	脳波検査
血圧脈波検査	24時間携帯型自動血圧心拍計検査
	簡易睡眠時無呼吸検査



■超音波検査

現在、超音波装置は治療や検査など、様々な領域で用いられるようになってきました。

臨床検査では主に検査目的に従事し、診療支援のほか医師と協力した超音波ガイドや操作支援も担当しております。担当領域は血管、心臓、腹部、泌尿器それぞれに専門認定超音波検査士を取得しており、診断技術の担保やスキルの向上に努めております。

▲血管 千葉 寛 臨床検査副主幹

血管では頭蓋内から四肢の動脈硬化性病変や静脈血栓について担当しています。主に生活習慣病として頸動脈評価、脳梗塞における頭蓋内動脈血流評価、整形外科術前後や心不全などによる深部静脈血栓評価が多くあげられます。

取得認定：日本超音波医学会認定検査士（血管）・脳神経超音波検査士・血管診療技師

▲心臓 阿部 真澄 主任臨床検査技師

心臓では心機能指標の標準的計測法を用いた2D評価を担当しています。主に成人対象で弁膜症や収縮能・拡張能評価が多くあげられます。医師による経食道心エコー評価時には装置操作も担当しています。

取得認定：日本超音波医学会認定検査士（心臓）

▲腹部 庄司 三希子 主任臨床検査技師

腹部では胆嚢、肝臓、膵臓を主体とした評価を担当しています。臓器疾患の早期診断には欠くことができない診断法とされ、健診・ドックを含め消化器科診療支援や救急外傷時のFASTエコーも連携して行っています。

取得認定：日本超音波医学会認定検査士（消化器）

▲泌尿器 三田 隼士 臨床検査技師

泌尿器では腎臓・膀胱・前立腺等における結石病変、腫瘍性病変など担当しています。結石による水腎症評価が多くあげられます。医師による経直腸エコー評価時には装置操作も担当しています。

取得認定：日本超音波医学会認定検査士（泌尿器）

▲体表

体表では甲状腺や乳腺における腫瘍性病変評価を担当しています。主に健診時の乳腺エコーがあげられます。

各診療科にご紹介くださいます。超音波評価検査をご利用頂きますようご協力お願い申し上げます。



栄養サポートチームからのお知らせ



フレイルやサルコペニアは、超高齢社会の日本では要介護状態に至る重要な要因として位置づけられています。現在、平均寿命と健康寿命の間には男性で約9年、女性で約12年の差があり、この差を縮めることが課題となっています。この健康寿命を延長する上で、適切な栄養管理をする事はとても重要です。入院される患者さんも、栄養状態の不良が続くと本来の疾患の治療が奏功しません。そのため全ての疾患において、的確な栄養療法が必要となります。

当院では、平成19年度よりNSTを稼働しています。NSTとは、ニュートリション（栄養）サポートチームの略で、様々な職種が知識や技術を持ち寄り、早期治癒や合併症の予防など、より良い医療を提供するため、栄養面でサポートするチームです。

当院のNSTは、医師2名、歯科医師1名、管理栄養士4名、看護師6名、薬剤師1名、臨床検査技師1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、歯科衛生士1名、事務員1名で構成されています。そのうち、日本静脈経腸栄養学会認定の栄養サポートチーム専門療法士が8名、日本病態栄養学会認定の病態栄養専門管理栄養士が2名おり、チーム医療の中で臨床栄養学に関する知識と技能を発揮しております。

全入院患者さん対象に、入院時に栄養スクリーニングを実施し、栄養不良または栄養不良の可能性のある患者さんに対しては、週1度行われるNSTミーティングにおいて、カンファランスを行います。また、主治医よりNSTへ介入依頼のあった患者さんに対しては回診を行い、栄養療法に関する提案をしています。患者さんやご家族に対しては栄養実施計画兼報告書を説明し配布しており、施設入所時や転院時に栄養情報提供書を送付して、栄養管理の参考にさせていただいております。栄養療法を中心として今後も健康寿命の延伸に寄与するため、活動を続けていきたいと思っております。

サルコペニア…加齢により筋肉量が減少することで、筋力低下が起きること。

フレイル…体の予備力が低下し、身体機能障害に陥りやすい状態。日常生活機能障害の前段階。



■ 患者さんをご紹介いただく医師の皆様へ ■

- ご紹介時には、別紙「紹介患者（検査依頼）FAX 申込書」をご利用ください。
 - 申込書受信後、折返し次の書類をFAX送信いたします。なお、受診日時、病状等を当院より電話で問い合わせさせていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・ 外来患者さんのご紹介 … 「ご紹介確認書」, 「来院のご案内（紹介患者様用）」
 - ・ 入院患者さんのご紹介 … 「入院連絡書」
 - 申込書は、平日の17時までに送信していただくようお願いいたします。
 - ご紹介いただきました患者さんの診療情報は、随時提供いたします。
- ※ 時間外の救急、緊急入院が必要な患者さんのご紹介は、直接日当直医師にご連絡ください。

【紹介患者（検査依頼）FAX 申込書の送信先】

盛岡市立病院 地域医療連携室 FAX 019-631-2102

「紹介患者（検査依頼）FAX 申込書」は当院HPからダウンロードできます。

【URL】 <http://www.morioka-city-hosp.jp/engaged/zyuzisya.html>